

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 8 日現在

機関番号: 12605

研究種目: 基盤研究(B)(海外)

研究期間: 2008~2012

課題番号: 20402036

研究課題名(和文) 中国における人口と環境

— 高齢化・社会保障・出生性比からみた一人っ子政策 29 年

研究課題名(英文) Population and Environment Issue in P.R. China

研究代表者

若林 敬子(WAKABAYASHI KEIKO)

東京農工大学・本部・名誉教授

研究者番号: 60293015

研究分野: 社会科学

科研費の分科・細目: 社会学・社会学

キーワード: 中国人口、環境、高齢化、社会保障、出生性比

1. 研究計画の概要

本研究は世界人口 70 億人、内 13.5 億人を超える人口超大国・隣国の中国人口問題についての社会学的実証調査研究である。特に国策として位置づけられている“人口と環境”問題について、今回は、高齢化・社会保障・出生性比の視点から多角的なアプローチを行ってきた。

中国は 1979 年世界が驚く 1 組の夫婦に子供 1 人を提唱するといういわゆる“一人っ子政策”を開始し、奨励や罰金制度の導入と平行しつつ厳しい国策を 32 年間も続けてきている。

人口の抑制は、“痛みを伴うけれども最大の環境対策”であるともいわれ、中国の高度経済成長を推進する力（人口ボーナス期にも重なり）ともなったが、他方で急速な高齢化が、とりわけ 2030 年以降に進行することが必至であると予測されている。さらには、農村ではなお社会保障改革が不整備のままでかつ追いつかず、都市と農村および地域の格差を伴いつつ大きな国家的負担となっている。また、男尊女卑、老親扶養、あとつぎのための男児を欲するという出生性比の不均衡問題が大きな影をおとしている。

広大な中国にあって、都市（上海市、北京市）、農村（湖南、海南、内モンゴル）の 5 地区で本格的社会的サンプリング調査、量的・質的調査をこれまでにを行い、その問題点を総合的にあぶりだすことに成功したと思っている。

最終年度の 2011（平成 23）年度には、そ

の理論的・実証的な比較と総括をまとめあげること目標としている。また、日本との比較や東アジア論の中の位置づけも射程にいれつつ結論を導き、中国の人口問題の社会学的研究の最新結果の公表・刊行を行う覚悟である。

2. 研究の進捗状況

2008~2011（平成 20~23）年度、4 年間にわたり研究調査を行ってきたが、本年度・2011（平成 23）年度は 4 年間の最終年度にあたる。それ以前の 4 年間（2004~07 年度）にわたり、人口流動・移動研究も加えれば 8 年間にもなり、中国人口社会学の本格的実証調査が継続できたことに対して、心より感謝している。今回、これまでの高齢化の調査地としては、以下の 5 地区で行っている。

(1) 南部

都市

- ① 上海市（協力者：上海社会科学院左学院院長・人口研究所周海旺所長）

農村

- ② 湖南省（協力者：中山大学社会人類学系 周大鳴教授、田阡（後に西南大学に転職））

- ③ 海南省（協力者：中山大学社会人類学系・農村研究所 麻国慶教授）

(2) 北部

都市

- ④ 北京市（協力者：清華大学人文社会科学学院院长・社会学系主任 李強教授）

農村

- ⑤ 内モンゴル（協力者：清華大学人文社会科学学院院长・社会学系主任李強教授）

上記のように、中国における第一線級の人口社会学者らの研究協力を得て、高水準にして最先端の社会的面接意識実態調査が実施できたことをしっかり認識している。これから始まる最終の本年度は、その広く総括的な比較と分析、まとめ、結論付けを行っていく計画である。

幸いにして、2010年11月1日には第6回人口センサスが実施され、その結果も公表されようとする予定であるから、5地区のオリジナル調査にあわせて、センサス分析も平行し、より高いレベルの結果報告書を執筆し、公けに近く刊行する予定である。

3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。
業績が予定より多い。

4. 今後の研究の推進方策

まとめの総括をして刊行すること。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計13件）

- ① 若林敬子・馮文猛・聶海松「中国的老齡人口及社会保障—一个基于六省实证调查的社会学研究」『中国家庭研究』（上海社会科学院家庭研究中心編、中文）第5卷，2011年近刊 査読有
- ② 若林敬子・聶海松「中国都市部と農村部における高齡者の生活と社会保障—2008年上海市・海南省の調査から」『日中社会学研究』（日中社会学会）18号，pp132-145，2010年 査読有
- ③ 若林敬子「中国の人口問題をめぐる最新事情—2000万人巨大都市の上海市を含めて」，日本国際問題研究所『国際問題』2010年7・8月合併号〔第593号〕，焦点：深刻化する世界の人口問題，pp26-38，2010年 査読無
- ④ 若林敬子「中国の人口問題の現状と展望」，日中経済協会『日中経協ジャーナル』No.183，pp12-15，2009年 査読無
- ⑤ 若林敬子「人口から見た多民族国家中国」，『環』vol.34 特集多民族国家中国の試練，藤原書店，pp170-183，2008年 査読無

〔学会発表〕（計18件）

- ① 若林敬子・聶海松「中国の高齡化をめぐる実証比較研究—上海・北京・海南・湖南・内モンゴルの調査から」日本村落研究学会 第58回(2010年度)大会 2010年11月20日 於東北大学(上田市)
- ② 若林敬子・馮文猛・聶海松 “The Elderly and Social Security in China: One Empirical Sociological Study Based on the Surveys in Six Provinces” (第四回世界中国論壇・上海社会科学院国際会議)，2010年11月7日 於上海
- ③ 若林敬子・聶海松「中国都市部と農村部における高齡者の生活と社会保障—上海・北京・湖南・海南・内モンゴルの調査から」日本現代中国学会 第60回大会 2010年10月17日 於中央大学多摩キャンパス
- ④ 若林敬子・馮文猛 “The Recent Migration in China: One Empirical Sociological Study Based on the Surveys in Beijing, Shanghai, Guangdong and Sichuan” (第三回世界中国論壇・上海社会科学院創設50周年記念国際会議)，2008年9月8日 於上海
- ⑤ 若林敬子・馮文猛 “Rural-urban Migration in China: The Latest Changes and The Implication for Chinese Rural Society” (In English) The XII World Congress of Rural Sociology, Goyang, KOREA (世界農村社会学会) 2008年7月7日 於ソウル

〔図書〕（計8件）

- ① 若林敬子著『日本のむらむら、昔と今—人口からみた九篇』ハーベスト社，2011年，201pp
- ② 若林敬子「中国における人口政策の変遷と公共観の変貌」藤田弘夫編著『東アジアにおける公共性の変容』慶応義塾大学出版会，2010年，pp125-141
- ③ 若林敬子著『日本の人口問題と社会的現実』，第I巻 理論篇 471pp，
第II巻 モノグラフ篇 380pp，
東京農工大学出版会，2009年
- ④ 若林敬子著『沖縄の人口問題と社会的現実』，東信堂，2009年，230pp
- ⑤ 馮文猛著・若林敬子推薦，『中国の人口移動と社会的現実』，東信堂，2009年，230pp

〔その他〕なし